



みんな輝く！ 学校輝く！ ふるさと輝く！

# 「輝く！」 第2号



令和6年5月9日(木)発行

(りんどうヶ丘小ホームページQRコードです。学校生活のブログ等をご覧ください。)

## 子供の読書活動優秀実践校

## 文部科学大臣表彰 受賞！



あまり知られていないかも知れませんが、実は、日本には「**子供の読書活動の推進に関する法律**」というものがあり、その中で、**毎年4月23日を「子供読書の日」と**することが定められています。

そこで、毎年4月23日には、この「子供読書の日」を記念して、国民の間に広く子供の読書活動について、関心と理解を深めるとともに、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に、「子供の読書活動推進フォーラム」が開催されています。

また、フォーラムの中では、全国各地の保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・公立図書館・読み聞かせ団体・個人などの中から、**優秀実践校などを表彰する「文部科学大臣表彰」というのが行われており、今年度の優秀実践校に、我がりんどうヶ丘小学校は選ばれた**というわけです。実に光栄で喜ばしいことです。

これもひとえに、りん小っ子の読書活動推進にお力添えをいただいている後援会・保護者の皆様や長年読み聞かせを行っていただいている「かっこうの会」の皆様をはじめ、地域の方々のご支援のおかげです。心より御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

もちろん、**受賞の主役はりん小っ子**です。学校では、図書担当職員の指導のもと、企画図書委員会の子供たちを中心に様々な活動を展開しています。

例えば、毎日の給食時間に「**おすすめの本**」を紹介したり、読んだ後の感想をお返しする「**読書郵便**」などがあつたりします。

くわえて、各学級においては、**個人の年間読書目標冊数、及び、その合計冊数を設定し、目標達成に向けた進捗状況を毎月公表し、達成感や充実感を体感させるとともに意欲喚起につな**げているところです。

その成果として、**令和5年度の一年間での全校児童48人の合計読書冊数は、1万冊を超えました。一人当たり換算しても200冊を超え、驚異的な数字を記録**しています。子供たちの読書量の多さには本当に驚きます。すばらしいと思います。

実は、表彰式が行われた「子供の読書活動推進フォーラム」の中で、**作家の「喜多川泰」氏の記念講演**がありました。「**読書のススメ**」という演題で話されました。

その中で、「**わたしたちは、だれでも1日1回はお風呂に入ります。これは、わたしたちが長年築き上げてきた文化です。お風呂の時間は、だいたい15分から20分くらいであり、これは、1日(24時間)の中の1%の時間です。このたった1%の時間をお風呂に費やすことを当たり前のように毎日繰り返しています。このわずか1%時間(約15分間)を読書の時間にも使うことができたらどんなにすばらしいことでしょう。**」という話がありました。

**りん小の子供たちは、この毎日1%の時間を読書の時間にもするという「毎日の読書文化」**がすでに出来上がっているということになります。改めてその素晴らしさを痛感しました。

喜多川氏は、「**読書は、自分の心をきれいにしてくれる！」「読書は、その人のそれまでのすべての価値観をもとにして読むもの！」「読書は、好奇心と向上心を生み出す！好奇心と向上心にあふれた人は、誰かの行動を否定しない！」「本には生き方や価値観がいっぱい！その価値感にふれた瞬間に命が輝く！」**とも言われました。

今回の「文部科学大臣表彰」受賞を励みに、さらなる高みを目指して、**わたしたちが毎日お風呂に入る習慣があるのと同様に、毎日の読書が習慣が隅々にまで行き渡るよう、読書活動の推進に取り組んでいきたい**と思います。

＜めざす家庭・地域像＞

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！